

【学校運営協議会資料】

平成30年度 堺東高等学校

第2回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

平成30年度 堺東高等学校第2回学校運営協議会が、11月29日に開催されました。第2回の協議事項は、「学校経営計画における取組みの中間報告について」、「各学年等より今年度の取組みの中間報告について」の2点です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 二橋 るみ子 (堺市立晴美台中学校 校長) 欠席
- 3 美濃部 桂子 (本校後援会顧問)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 谷 僚子 (本校PTA会長)
- 6 松野 雄太 ((株)ベネッセコーポレーション)



栗山校長

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 学校経営計画における取組みの中間報告について (校長)
- 3 各学年及び各部署より取組みの中間報告について
 - ・1 学年
 - ・2 学年
 - ・3 学年
 - ・各部署
(質疑応答)

第2回テーマ

「学校経営計画における取組みの中間報告について」

「各学年及び各部署より取組みの中間報告について」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 学校の近況ですが、夏休み中にオーストラリアに語学研修に行きました。20年続いている取組みで、今年は訪問校が変わりました。
- 夏休み中に、堺大魚夜市のボランティアや保育所実習、病院実習に参加しました。
- 9月の台風で西館に大きな被害が出ました。屋上の防水シートがはがれて3階のLAN教室に雨漏りが起こり大変でした。府より600万円の予算をいただき、改修工事も終了しています。
- 9月には、文化祭があり学校全体で盛り上がりました。また、10月にPTA活動で吉本新喜劇の観賞に行き、楽しいひと時を過ごしました。
- 11月には、予告なしの避難訓練を行いました。消防署から講師に来ていただき、講評をしていただきました。また、校内研究授業を行い、研究協議で意見を出し合い、全体発表を行うなどお互いにいい刺激になったと感じています。
- 生徒の活動では、ビブリオバトル(大阪準優勝)や演劇部(近畿大会出場)、ダンス部(全国大会出場)などががんばっています。

■ 語学研修には何人参加したのですか

- 東百舌鳥高校と合同で12名、本校からは8名参加しました。

■ 成人式にダンス部に出ていただきたかったのですが、全国大会の直前ということで断念しました。大会がんばってください。



- 国や府の動向としては、新学習指導要領に向けて来年度に大枠を決める年になっています。再来年の夏ぐらいにカリキュラムを決定しなければならないこととなります。
- 働き方改革の一環で夏休みに連続3日の休業日を設定しました。また、部活動のあり方についても国・府からガイドラインが出て、年間計画を作成し、年104日以上休養日を作るように指示がありました。

■今年度の学校経営計画と取り組みについて質疑応答

□説明 ・ ■意見・質問

◇「今年度の学校経営計画と取り組みについて、校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

- 11月9日(金)に公開授業・研究協議を行いました。当日出張などあり71%の出席率でした。医療系大学などとの連携講座については関西医大に5名、近大附属看護学校に5名と昨年よりは少なくなりました。夏の勉強合宿についても日程が遅くなり塾や講習との兼ね合いで希望者が出ず中止になってしまいました。春の勉強合宿は13名が参加しました。学力生活実態調査は、2年生がB3に下がり、センター受験希望者も少し減少して98名になっています。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

- 自立支援生と一般入学の生徒との交流授業については、12科目となり昨年度の6科目から倍になりました。また、夏の堺支援学校との交流会参加者も目標人数を越え47名が参加しました。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

- 夏休みのインターンシップ参加者は、保育実習4名、病院実習5名、老人介護施設実習は4名の参加でした。部活動では、演劇部の近畿大会出場やダンス部の全国大会出場が決まりました。部活動入部率も79.7%に増加し、女子バスケットボール部、男子バレーボール部が中学校と交流しました。体育祭・文化祭の満足度は例年と変わらず92.2%・93.3%でした。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

- オープンスカールの参加者は、第1回が中学生390名・保護者139名の計529名、第2回が中学生230名・保護者118名の計348名で2回の合計が877名でした。中学校での説明会は12校で行いました。

【 5、その他 】

- 部活動やいじめの基本方針の作成、制服の改定や修学旅行の検討、平成33年度から始まる新教育課程に向けて職員で情報を共有し、学校の方向性を確認する作業も進めています。また、今年は災害の多い年で休校などの情報を早く正確に生徒、保護者の皆さんに伝達できるよう「さくら連絡網」という情報発信ツールをPTAの協力で導入する予定です。

■ いじめの基本方針はいつも出されているのか。

- 雛形を参考に作成しており、以前のものを本年度府教育庁の方針に則って改定しました。

■各分掌・委員長からの説明に対するの質疑応答

□説明・■意見・質問

【 1 学年より 】

- 入学後半年がたち学校に慣れてきている。まじめに学習しており、先日のクラスマッチでは、生徒が企画運営し、盛り上がり楽しんでいました。メリハリのある生徒になってもらいたいと考えています。今は、堺支援学校との交流会に向けて障がい理解講演会等行って準備しています。後期に入ってすぐに来年度の科目選択を行った。進路講演会を2回行ったり、ポートフォリオに記載するため自分のしたことの記録をする習慣をつけるように指導しています。最近欠席や遅刻が増えてきているので多方面からサポートしていく必要があると考えています。

【 2 学年より 】

- 今の3年生を見ていると受験真っ只中なので、2年生にもこの後期は3年0学期ということを感じさせるよう指導しています。スタディーサポートの結果を踏まえて自宅学習と成績の関連性を話していますが、理解していても行動できない生徒がいるので支援して行こうと考えています。例年多数の生徒が受験する模試の希望者が今年は少ないので、自信がないのかなと感じています。これから修学旅行に行くので、終わったら気持ちを切り替えて学習に取り組んでいけるように支援を続けていきます。部活動は、3年が引退して中心となって活動しています。

【 3 学年より 】

- いよいよ登校する日数も40日を切ってきました。遅咲きの学年であると感じているので、人間関係などていねいに対応していく必要があると考えています。2年次までは行事の満足度など例年より10%ほど低かったが、今年の体育祭・文化祭はしっかり取り組みやり切れたかなと感じています。3年になって塾や予備校に行く生徒が増えてきています。コツコツがんばっているので一般試験に向けて指導しています。



■ 1年の休みが多いことに対して何か対策はとっていますか

- 支援委員会と連携して、ほっとコーナーなどを利用して個別に話を聞くなど対応しています。女子よりも男子のほうが少し多いように思います。

【 総務部より 】

- 夏と秋にオープンスクールを行いました。夏は減少傾向で、猛暑の影響が考えられます。秋は、全体説明で生徒会の生徒が学校の説明をしたので分かりやすかったと中学生や保護者のアンケート結果は好評でした。学級委員をはじめフレンドの生徒やボランティアの生徒による手助けが増えておりよい傾向だと感じています。7月は暑いので次年度以降の改定に向けて検討を始めています。

【 教務部より 】

- 現在、来年度の行事予定・教育課程を作成していますが、来年度は、祝日が増える予定なので授業日の確保に苦慮しています。また、新教育課程が34年度より実施になり、一部先行実施となるので、教職員で研修を行い、策定に向けたロードマップの確認を行いました。

【 進路部より 】

- 45期生の受験合格者数を見ると短大・専門学校は、ほぼ100%だが、大学受験は文系学部で3分の1、医療看護系は10分の1の合格で苦戦しています。医療看護系の希望者は、大学志向が強いようです。

【 生徒指導部より 】

- 今年は、懲戒が6件、遅刻は、昨年の1700件から減少して1545件です。自転車通学の際の事故が14件で、うち6件が救急搬送されています。外部からのお叱りも多く、歩行者と接触することもあります。マナーを守るように指導していきます。



【 生徒会部より 】

- 文化祭は、台風の影響などで練習時間が少なくなっていました。オープニング・エンディングの映像で苦労したが、いろいろご協力もあり生徒たちも満足しています。部活動も校長が申したとおりがんばっています。

【 保健部より 】

- 11月8日に例年行っている予告なしの避難訓練を行いました。自分で考えて避難することを指導しました。保健室の利用が多くなっています。

【 人権教育委員会より 】

- 堺支援学校との交流会を12月13日に行います。今回は、本校に来校されます。第2回の職員研修は、2月4日に発達障害について行います。外部にも案内を出しています。

【 志学より 】

- 堺支援学校との交流会については、別紙に詳細があるのでご覧ください。7月に訪問したときの感想も載せてあります。

【 生徒支援委員会より 】

- 9月～11月のまとめは、別紙の資料をご覧ください。この数は、学年などと相談して絞り込んだ数なので、話題に上がっている数はもう少し増えます。毎月話題になる生徒もいれば、月ごとに入れ替わる生徒もいます。現在の状況だけでなく、将来の方向性も話すようにしています。3年が少ないように見えますが、学年でしっかり対応されているということです。2, 3年は女子のほうが少し多い感じです。

スクールカウンセラーは、出来る限り担任の先生にフィードバックする時間を持つようにしてくれています。発達障がいの子への指示の仕方などアドバイスしてくれています。ほっとコーナーは、学校としてセーフティーネットの役割を果たしている。教室にどうしても入れないときや生徒との面談などに活用しています。ただ、ずっといるのではなく、1日一コマだけで、それ以外は授業を受けるよう指導しています。

本校だけでなく4地区の幹事校として他校の支援もしています。

【 自立支援委員会より 】

- 3学年3人で9名の生徒が在籍しています。支援学校からの生徒や感覚過敏の生徒、短期大学に進学する生徒など多様化しています。明日(11/30)は115名の参加で説明会を行います。今年の入試は2月19日に行われます。過去の志願者は5人, 16人, 10人となっています。先日、実践報告会があり生徒たちが発表した。今までの取り組みを発表できるように取り組んでいます。学習障害に対応するIT学習支援機器のモニタリングを行っており応援していきたい。

【 プロジェクト委員会より 】

- 配慮生徒の学校生活の補助を行うため介助員・看護師などと連携しています。体調がすぐれないときがあります。先日の避難訓練では、どのように避難させるか、教職員でシミュレーションし、練習しました。

【 その他 】

- 台風・地震などの災害に対応できるよう来年度4月～「さくら連絡網」を運用する準備をしています。
- 修学旅行の検討をしており、10月に北海道に行くことで業者も交えて詳細を検討し、学年に引き継げることができればと考えています。

- ほっとコーナーはどのようなスペースですか。
- 倉庫として使われていたものを相談室とし、様々な教員が当番で担当しています。
- 看護医療系の進路はどうなっていますか。
- 看護師が8割を占めており、作業療法・理学療法は5名程度です。
- 進学を考えて2年から3年になるときに予備校や塾に行き始めることは、他校でも聞かれます。予備校などでは、進学を担保したいので5月の終わりぐらいに希望校を決めてしまう。現役の生徒が学力がついてくる前に決めてしまうのでモチベーションが上がりにくい。
- 目標を下げたというイメージはない。

- 近大の結果を見ると苦戦しているので、どちらかというとチャレンジしているように感じます。全体として難しくなっている感じがします。
- 近大については、昨年・おとしとGTZがひとつずつ上がっているので、現場の先生方の認識がずれてきているのではないかと。
- 大学の定員を考えた指導はしているのか。
- 情報を集めて生徒には伝えるようにしています。
- 合格者数を絞り込んで、追加合格を出しているのが現状です。
- 安全思考が進んでいるので、大学側は一般合格を絞っています。
- 学校では「上を目指そう」と指導されているので、予備校や塾に行っていないので希望を下げることはできないと感じます。
- 予備校や塾には多くの生徒が行っているようだ。
- 学校がサポートしてくれると思っているので、親としてはどうしてよいかわからない。
- 難しくなっているのは、安全志向が強くなって上位層が降りてきているから。現役の生徒はこれから伸びるのでがんばるよう指導していきます。
- 台風でロッカーが被害にあったようですが、大丈夫ですか。
- 使用に耐えられないロッカーはなかった。倒れないような措置を考えています。

次回の日程

【第3回】 平成31年 2月18日(月) 午後3時~5時
を予定しています。よろしくお願いいたします。